

米の核削減に反対 核弾頭の最新鋭化

在米大使館公使が とんでもない提案

オバマ政権が核削減を進めていた2009年。米議会諮問委員会からの意見聴取での当時の在米大使館の秋葉剛男公使（現外務省事務次官）らの発言を「しんぶん赤旗」が入手。日本側は、質量とも核戦力の維持と増強を求め、核弾頭の最新鋭化と小型化まで促していたことが明らかになりました。

日本側の文書発言 09年2月25日付

退役が検討されていた核巡航ミサイル・トマホーク（TLAM/N）について、「退役を決定した場合、能力の喪失の相殺について協議したい」

諮問委員会スタッフの概要メモ

日本側が『低爆発力の地中貫通型核兵器』が『拡大抑止に特に有効』と述べた。



質問する井上さとし参院議員

沖縄への核貯蔵庫 建設を容認

諮問委員会のシュレジンジャー副議長（元国防長官）「沖縄かグアムへの核貯蔵庫建設についての日本の考えはどうか」

秋葉公使「そうした提案は説得力があるように思える」

記録文書の公開 拒む河野外相

河野太郎外相は、3月20日の衆院予算委員会で赤嶺議員が、沖縄への核貯蔵庫に関する発言について質問したのに対し、外務省北米局の職員が秋葉氏に問い合わせたところ「発言はない」と答えたと否定。

しかし、諮問委員会のメンバーのハルペリン氏は沖縄のやり取りを記したメモについて、「正確なメモだ」と述べています。（3月13日）

Schles: storage site on Okinawa w/o weapons?
Amb: Sounds persuasive to me

沖縄への核貯蔵庫建設を認める発言を記したメモ

日米で核兵器の共有を提案

米国「憂慮する科学者同盟」の報告書

同氏（秋葉氏）の考えでは、日本にとって唯一の効果的な核オプションは、米国がNATO（北大西洋条約機構）同盟国に対して提供した『ニュークリア・シェアリング』と同様の取り決めだ。

井上さとし参院議員 「被爆者と国民の願いに背き、 非核3原則に反する」

井上さとし議員は3月26日の参院予算委員会で、河野外相に記録の開示を要求。河野外相は、日本側の記録は残っているが、対外的に明らかにしない前提になっていると開示を拒みました。

井上氏は、「日本側がOKすればすべての情報は開示できる。秋葉公使はその後米国の核協議に関わり、現在は事務次官だ」と指摘。

被爆者と国民の声に背き、国是である非核三原則にも反すると厳しく批判。

秋葉氏の委員会への出席、諮問委員会に提出した日本側の文書の提出、米国への関連資料の提出の要請を求めました。

東海ブロック
参院選必勝
交流ニュース

2018.3.30
NO.1

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
電話 052-264-0833 ファクス 052-264-0850 E-mail tokaiblc@ybb.ne.jp